

# 都心と地方の学習機会の格差をなくし企業と学生をつなぐプラットフォーム

金沢工業大学 工学部 情報工学科  
中沢研究室 若井 惇

## 背景

- 地方は都心と比べると機会の格差が大きいという問題やエンジニアがこれから更に不足するという将来的な問題が懸念されている

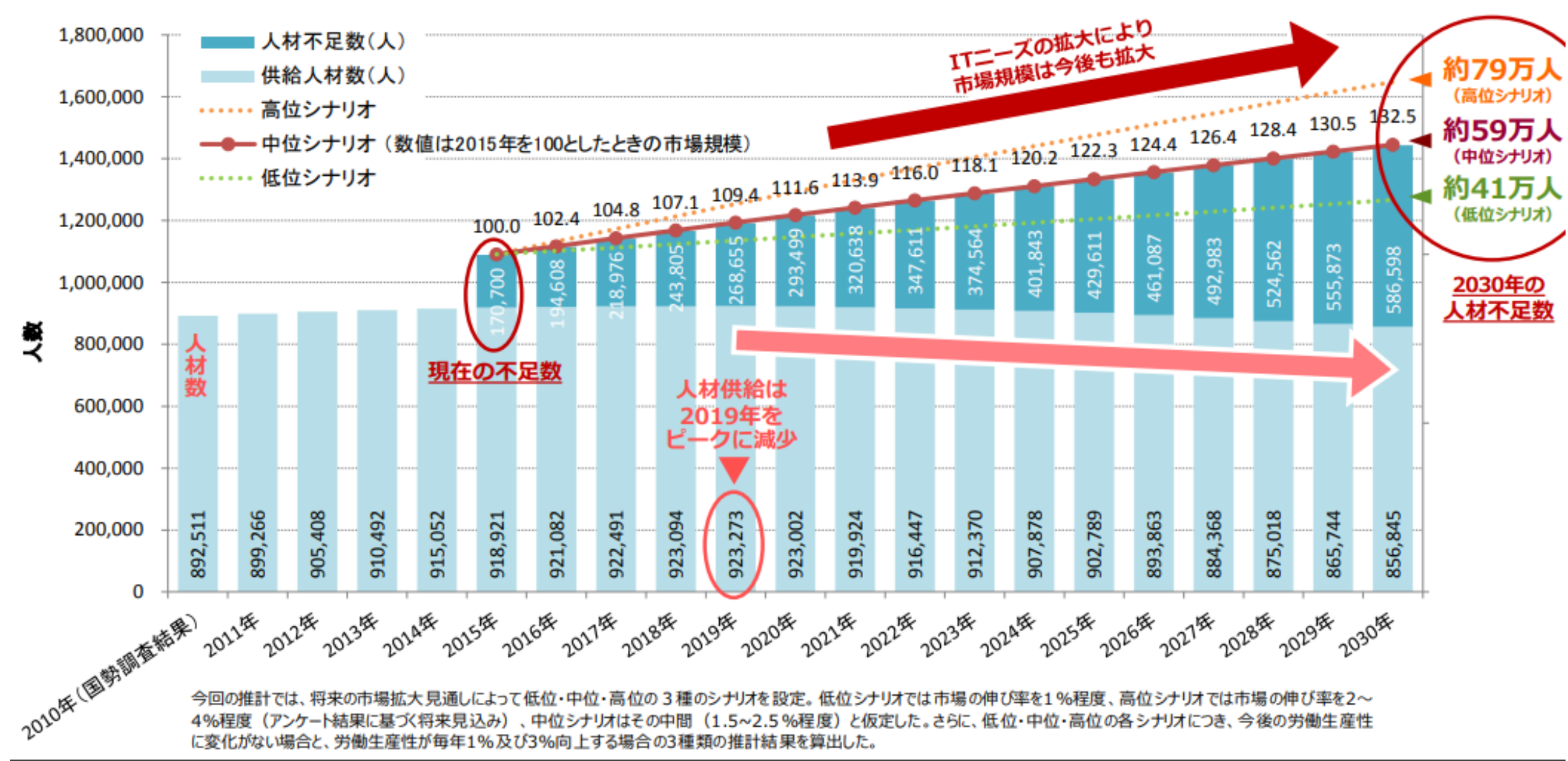


図1. IT人材の不足規模

出典：IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果（経済産業省）

- 都心と地方では得られる情報量や粒度に差がある

## 手法

- あらかじめ、ある程度のフォーマットを定め、フォーマットに合わせた記事を書いてもらうことで個々人の感想や評価を比較しやすくする

目的：何のための学習か  
参考にしたもの：参考書名、ウェブページURL  
結果：やったあとの理解度  
やる過程で詰まったところ、考えた部分

Figure 3: Learning record entry screen. The form includes fields for 'Title', 'Purpose', 'Reference', and 'Learning level'. It also has a 'Write' button and a 'Save' button.

図3. 学習記録を付ける画面

## 評価方法・指標

- 使用感などをアンケートを取り評価する
- 今まで学んできたことの見える化による次の目標設定のしやすさ/明確さ
- 学習記録のしやすさ
- 書きたい内容とフォーマットがマッチしているか

- 学習意欲があっても、自分の理解度に対してどの参考書を参考に学んでいけば十分な理解度を得られるか分からない

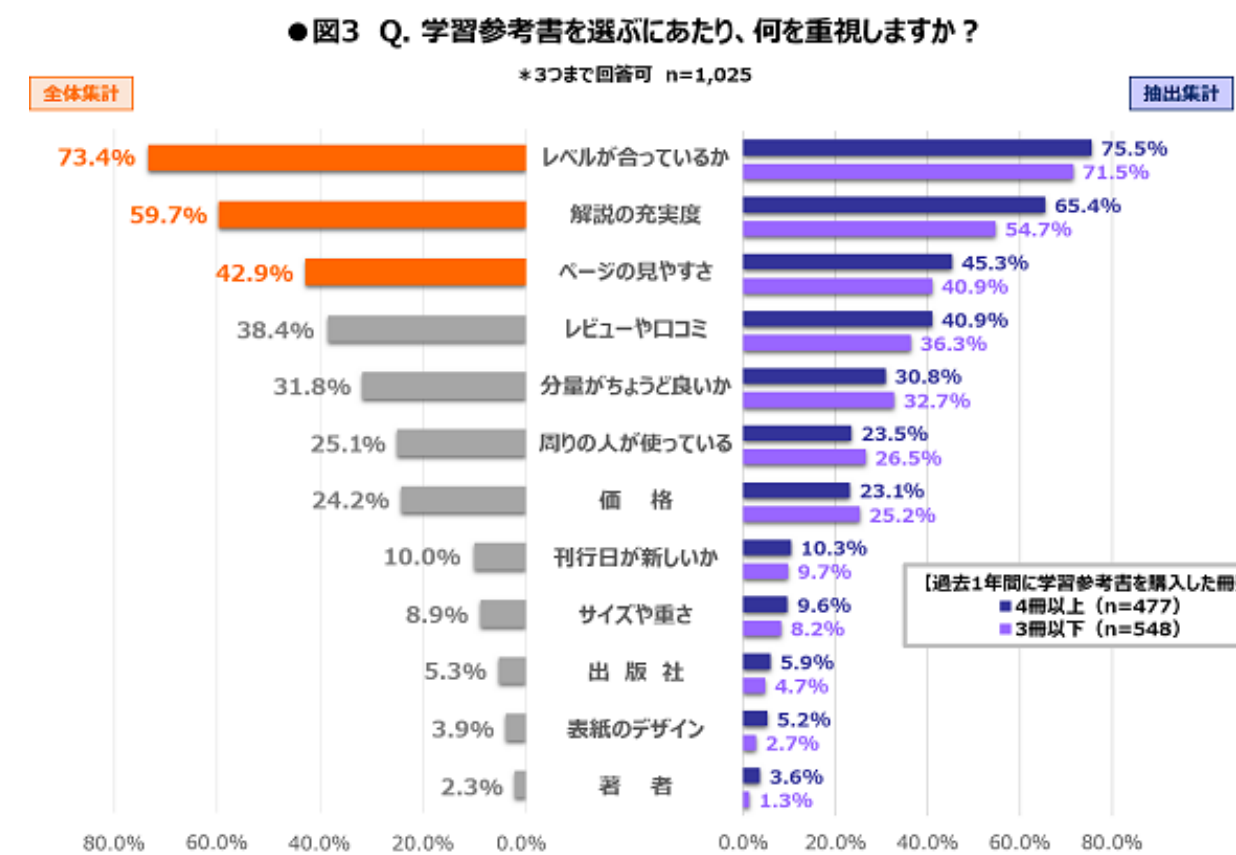


図2. 参考書選びの重視する点 出典：〈高校生の購買実態調査〉学習参考書の選び方と購入方法（株式会社旺文社）

## 目的

- 継続的な学習記録のしやすい環境を作り、自分の学んできた振り返りができる
- 参考書や教科書などを選ぶ際の参考にすることができる
- 本研究ではテーマの前段階として学習の記録をメインとした開発を行う

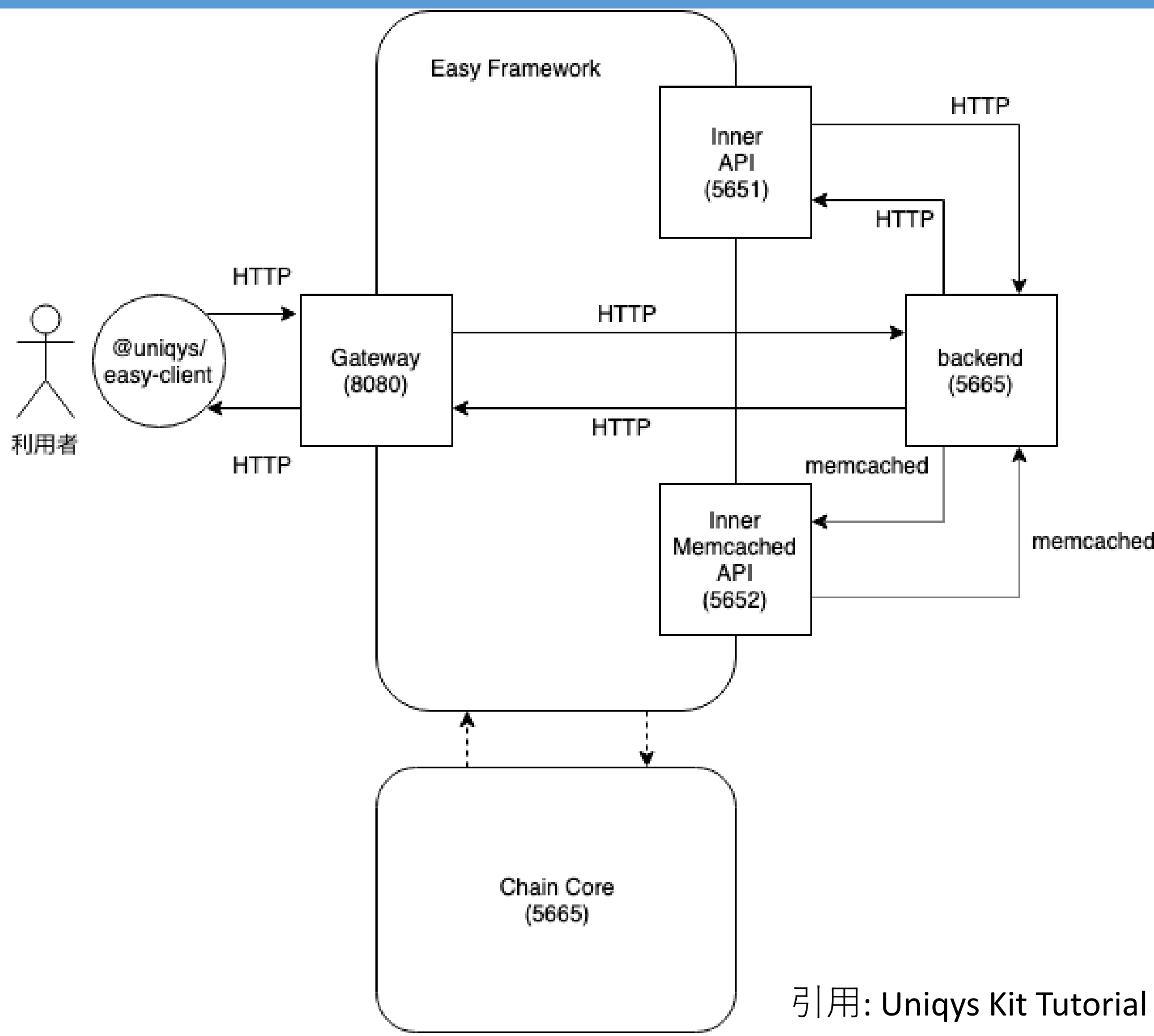


図4. 開発に使用するUniqys Kitの構成イメージ

## 先行事例

### スタディプラス Studyplus

- スタディプラスでできること
  - 学習を記録する
  - 参考書を管理する
  - 学習に役立つ情報
  - 学習内容をグラフで確認
  - 参考書のレビュー

## 今後の課題

- 提案手法の実装
- 学習者の記録をつけるモチベーション維持のためのアプローチ
- アンケートの実施